

認知症サポーター新聞

高齢者ドライバーの
重大事故を防ぐには

平成28年には、75歳以上の運転免許保有者数は500万人以上を超えました。今後も高齢者運転者数は増加していく事が予測されており、高齢者の運転中の事故も増える事が懸念されます。今回は、高齢者ドライバーの重大事故を防ぎ、安全運転を続けるためには、どうしたら良いかについてお伝えしていきます。

ご家族や周囲の人の声に
耳を傾けましょう

最近、車にキズが増えた」「交通違反の切符を切られた」など、これまでに経験がないよ

うな出来事があればご家族や周囲の人に、ご自身の運転について聞いてみましょう。また、ご家族に、高齢者ドライバーの方がいたら、安全運転を続けてもらう為に話し合いをしましょう。危険だから運転を控えてほしいと言っても、買い物や通院等、日常生活の移動に支障をきたしたり、運転の楽しみを奪われることに抵抗があり、すぐに運転を控えてもらう事は難しい場合が多いと思います。

まずは、高齢者ドライバーの話をよく聞き、なぜ車の運転が必要なのか、ご家族等が理解する事も必要です。また、運転の継続のためには、周囲から危ない」「こんな癖がある」など、客観的な意見を素直に受け入れ改善する柔軟さが必要

な事を伝えていく事も必要です。高齢者ドライバー本人は、耳が痛いと思うかもしれませんが、周囲の客観的意見も聞き、今後の運転についてご家族や周囲と話し合い、考えてみましょう。

焦らず・慌てず・安全確認

運転の経験が豊富になるほど、自分の運転は「大丈夫」と思い込み、交通環境への油断や習慣化された運転をしがちになります。しかし、若い頃より身体機能や「情報処理能力」は低下しています。予期せぬ出来事に素早い判断が出来なくなります。一時停止の標識のある所では必ず止まり、右よし。左よし」と声を出し安全確認を

する習慣をつけるのも良いでしょう。声を出すことによって、危険の見逃しを防ぐ事ができます。

高齢者講習制度の改正

2022年5月13日に改正道路交通法が施行され、現行の運転免許制度が改訂されることとなります。75歳以上の方で一定の違反歴がある方は運転技能検査を受講しなければなりません。高齢講習等の案内はがきが届いたら早めに自動車教習所に検査等の予約をして下さい。

運転免許の自主返納だけでなく、安全運転サポート車等もあります。運転について一度ご家族で話し合う機会を設けてみるのも良いですね。

検索：高齢者講習 改正
出典：東京海上日動 高齢者
ドライバーの重大事故を
防ぐには「より抜粋

【発行】
泉地域包括
支援センター
リンデンハウム
Tel.896-5960
Fax.864-3006